

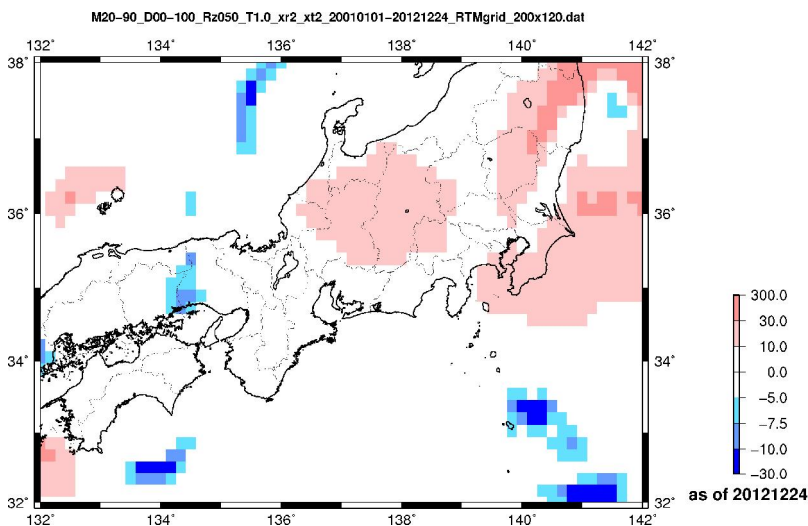
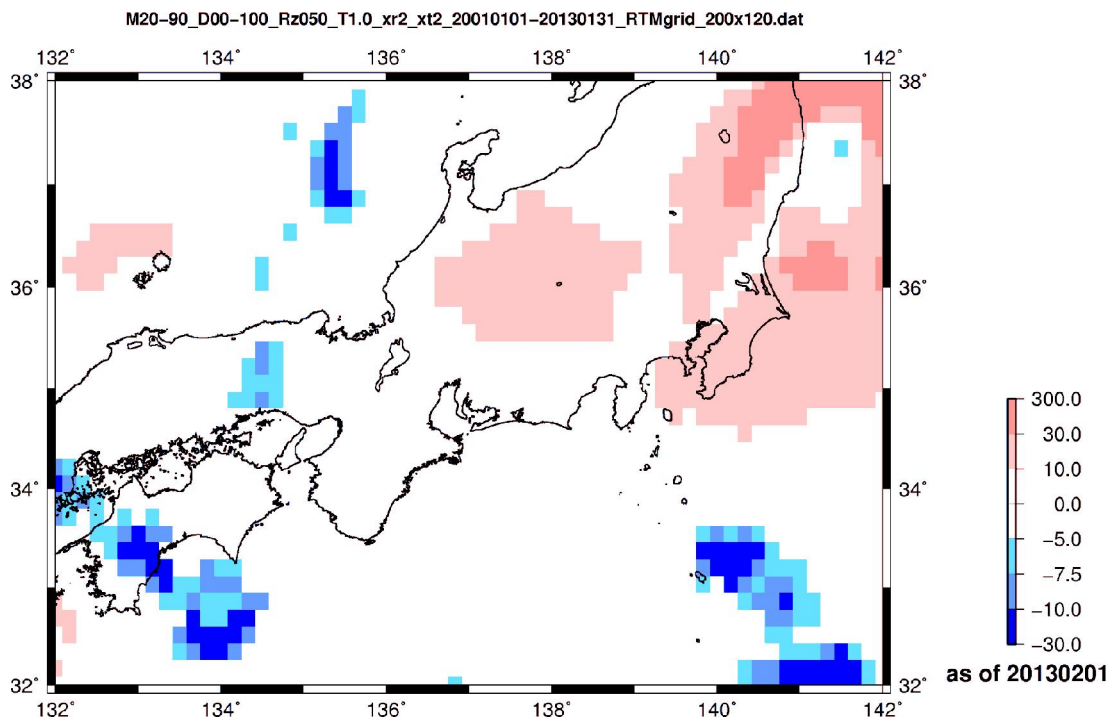
2013年2月6日、ソロモン諸島付近で発生した地震

米国地質調査所によりますと、この地震のマグニチュードは 8.0 と報告されています。2007年4月にも同じくソロモン諸島近傍（実際にはこの2つの地震は 700km 以上離れています）で M=8.1 の地震が発生しており、この付近はM8クラスの地震が世界でも多発する地域の一つです。

この地域の予測としてはカリフォルニア大学ロサンゼルス校のグループが M7.5 クラス以上の地震の5年間予測を行っておりますが、今回の地域には警報は出ておりませんでした（米国の発表は 8.0 となっておりますが、日本の観測結果等から、今後規模はもう少し小さく訂正される可能性があります。

本州中部・西日本の地下天気図

下の図は2月1日の時点での地下天気図です。



昨年12月末のものと、大きく変動はありません。現時点で少なくとも関西地方にはM7クラスの地震に関連すると思われる異常は観測されていません。

逆に福島沖ですが、ここには白い領域(過去10年の地震活動からのずれは、大きくないという意味)は、相対的には静穏化が進んでいると考えられる領域です。3.11により過去の経験則が適用しづらい状況が続いています。